

「救急患者精神科継続支援に基づいた自殺企図の再発予防チームの 実態調査と介入継続に関わる因子の探索」について

2020年4月1日～2021年6月30日の間に、救急患者精神科継続支援を受けられた
患者さんへ

研究機関 獨協医科大学病院 精神神経科
研究責任者 古郡 規雄
研究分担者 篠崎将貴、根本亜紀*、鈴木大作**、関口智美**
(*獨協医科大学病院看護部、**獨協医科大学病院地域連携・患者サポートセンター)
当院審査委員会 獨協医科大学病院 臨床研究審査委員会

このたび獨協医科大学病院精神神経科では、当院入院中または外来通院中に、救急患者精神科継続支援を受けられた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、この研究は、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に従い、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して行います。

なお、本研究は研究に参加される方の安全と権利を守るため、あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的と意義

自殺未遂を原因として入院した患者さんに対して、当院では精神科医、看護師、精神保健福祉士からなる自殺予防チームが、救急患者精神科継続支援を行っています。こういった支援は、始まって間もないため、どのような支援や介入の方法が良いのか、検討する必要があります。そこで、当院で救急患者精神科継続支援を受けていた患者さんの診療録の情報を用いて、自殺予防チームの支援の実態を調査します。さらに、自殺予防チームの介入を継続できた方々と、継続できなかった方々の特徴を調べることで、介入を継続するためのより良い方法を見出すために本研究を行っています。

2. 研究対象者

2020年4月1日～2021年6月30日までに自殺未遂により獨協医科大学病院に入院となった患者さんを対象として、79名（研究全体では162名）の方にご参加いただく予定です。

3. 研究実施期間

研究全体の期間：本研究の実施許可日～2023年3月31日

4. 研究方法

2020年4月1日から2021年6月30日の間に、自殺未遂により当院に入院となった患者さんを対象に、自殺予防チームが介入した患者さんのカルテ情報を使用します。調査項目は、年齢、性別、診断名（DSM-5による）、退院先、精神医学的評価項目（HAM-D、QUIDS-J、TIPI-J、CSQ-8）の点数、自殺企図動機、自殺手段、自殺予防チームの介入の可否、観察期間における介入の継続率・脱落率、救急患者精神科継続支援料の算定率を調査します。

5. 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料

本研究では、試料の利用はありません。

◇ 研究に使用する情報

年齢、性別、診断名（DSM-5 による）、退院先、精神症状の評価項目（HAM-D、QUIDS-J、TIPI-J、CSQ-8）の点数、自殺企図動機、自殺手段、自殺予防チームの介入の可否、観察期間における介入の継続率・脱落率、救急患者精神科継続支援料の算定率を調査します。

対象となる患者さんの個人情報には匿名化し、プライバシー保護には細心の注意を払います。

6. 情報の保存と廃棄

本研究で使用するデータは、各研究機関の患者 ID とは別に、任意の専用番号を割り振ります。自治医科大学附属病院精神科とのデータの授受には、患者 ID や氏名、住所といった個人情報は記載せず、任意の専用番号で個人を識別したデータとして、主に電子メールを用いて行います。

本研究に使用した情報は、研究終了後 5 年間保存します。また、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、ポスターおよび病院 web サイトでお知らせします。

7. 研究計画書の開示

患者さん等からのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画の資料等を閲覧することができます。

8. 研究成果の取扱い

この研究の成果は、研究対象者となる患者さん等の個人情報がわからない形にした上で、学会や論文を発表することがあります。

9. この研究に参加することでかかる費用について

この研究に参加することでかかる費用はありません。

10. この研究で予想される負担や予測されるリスクと利益について

本研究は既存の情報を用いるため、主に予測されるリスクは個人情報の漏洩に関することですが、データは匿名化し厳重に管理することで個人情報の保護について対策を行います。また、この研究に参加することで直接利益を得られないかもしれませんが、この研究を行うことで、有用な情報が得られれば、将来的に多くの患者さんの手助けになる可能性があります。

11. 知的財産権の帰属について

この研究の結果として、知的財産権が生じる可能性があります、その権利は獨協医科大学病院に帰属します。

12. この研究の資金と利益相反 *について

この研究に関わる利益相反はありません。また、この研究にご参加いただくことであなたの権利や利益を損ねることはありません。

*利益相反とは、外部との経済的な利益関係によって、研究の実施に必要なとされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念される行為のことです。

13. 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、2023年3月31日までに下記にお申し出ください。何らかの理由により、あなた自身が研究計画書の閲覧希望、研究の拒否希望を述べることや決定することが出来ない場合には、あなたのご家族やあなたが認める方を代諾者としてお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、解析開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

獨協医科大学病院 精神神経科
研究担当医師 古郡 規雄
連絡先 0282-86-1111（平日：9時00分～17時00分）

14. 外部への情報の提供

外部への情報提供はありません。

15. 研究組織

共同研究機関 自治医科大学附属病院 精神科
研究責任者 須田史朗
本研究における役割 研究データの提供